

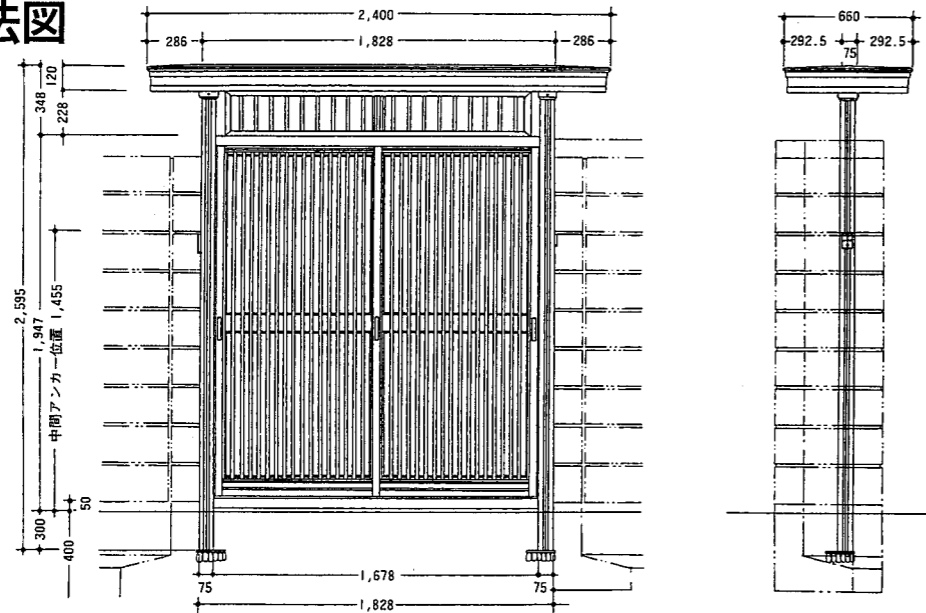
製品記号一覧表

部材記号		別売部品	
柱セット 名称	障子セット 名称	飾りらんま 名称	
屋根用柱	せんぱん格子 (目すかしタイプ)	たて格子らんま	
屋根なし用柱	バネルタイプ (目かくしタイプ)	千本格子らんま	
屋根セット 名称		自立タイプ用控柱	
屋根			

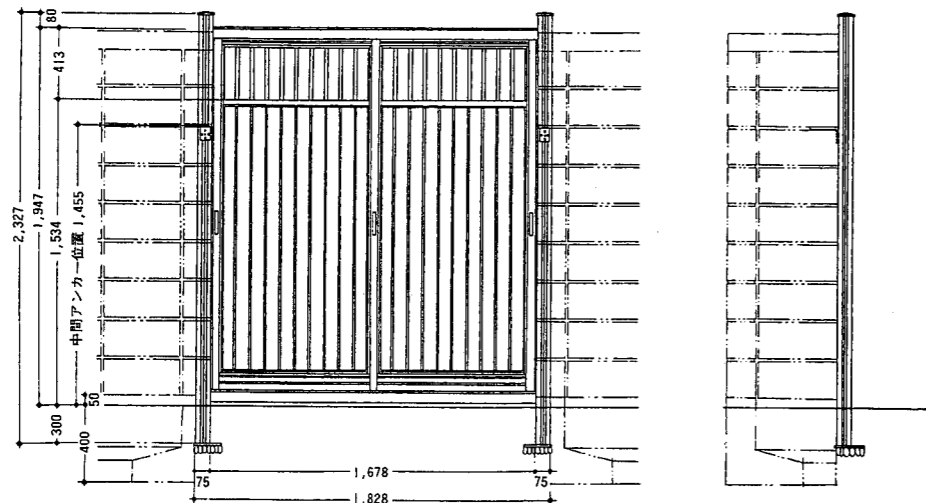
■ 組合わせ方法
 ● 屋根付タイプ = 〈屋根〉 + 〈屋根付用柱セット〉 + 〈障子〉 ※らんを付ける時+〈らんま〉
 ● 屋根なしタイプ = 〈屋根なし柱セット〉 + 〈障子〉 ※自立タイプの時はそれぞれ+〈自立タイプ用控柱セット〉

基本寸法図

● 屋根付タイプ
(せんぱん格子納まり)



● 屋根なしタイプ
(目かくしタイプ納まり)

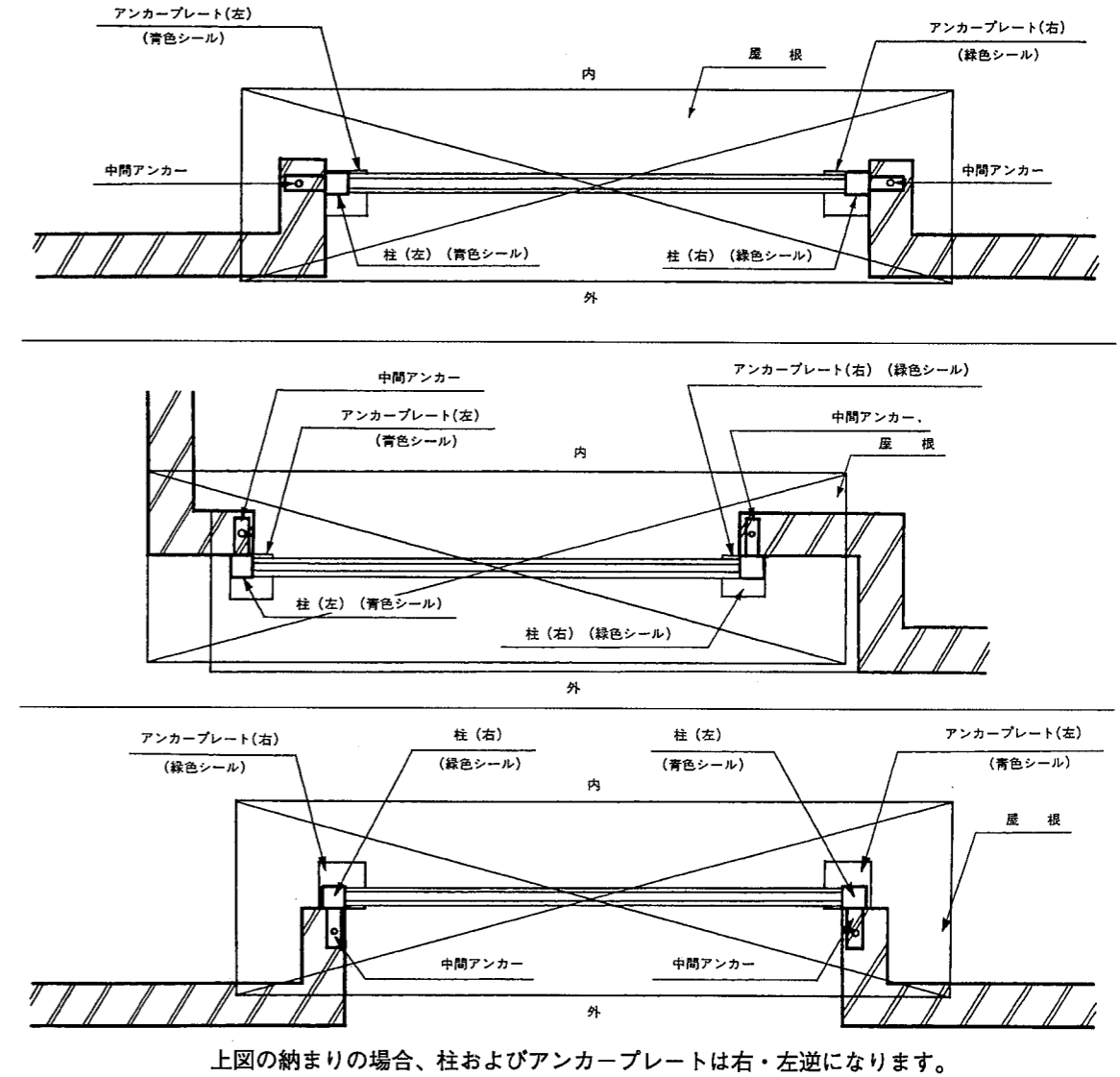


注意事項

- 新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。
- ①アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。
接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
 - ②輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますのでその使用は避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
 - ③モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
 - ④モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。
抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
 - ⑤モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
 - ⑥施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
 - ⑦腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

納まり方向による柱およびアンカープレートの取付け方

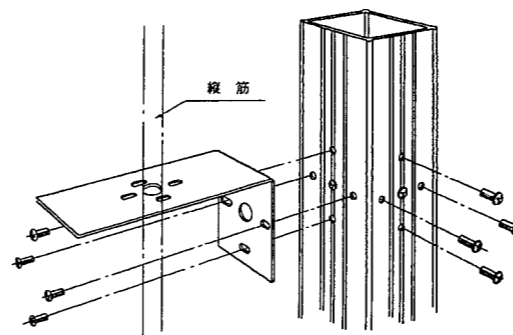
● 部材・部品には外観より右(緑色シール)・左(青色シール)で表示してあります。



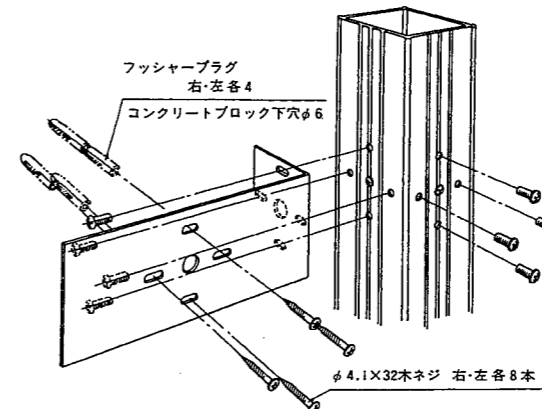
中間アンカーの取付方向

〈自立タイプ柱にする時は中間アンカーは不要となります〉

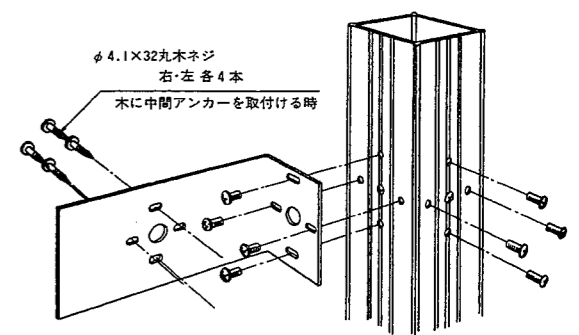
● 新規ブロック塀に取付ける時



● 既設ブロックに横から取付ける時



● 既設木部などに取付ける時



● コンクリートブロック下穴はφ6の穴をあけます。

● 上図のように、納め方によって中間アンカーの取付け方向を変えて、シッカリ固定してください。

■ 屋根付タイプ取付手順

〈自立タイプ用控柱も取付けできます〉

■ 屋根なしタイプ取付手順

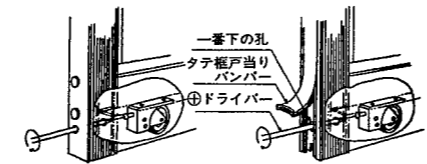
〈自立タイプ用控柱も取付けできます〉

この製品はらんまが付けられるようになっております。らんまを付ける時は無目上面に差込んである、フサギ材を引き抜いてから右の組立て順序で組立ててください。

尚、どの様な納まりでも中間アンカーは必ず取付けるようにしてください。

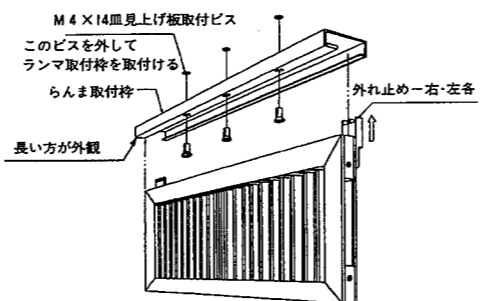
※注) 自立タイプにする時はアンカープレート・中間アンカーは不要になります。アンカー一部・中間アンカー部の取付けは自立タイプ用控柱セットの中の取付説明書をご覧ください。

- ①柱の右・左を確認して(外観より右・左)無目(内・外なし)及び下枠(内外に注意、レールより下枠の端までが狭い方が内側)を各々M4×110のビスで組立ててください。各々の穴にビス穴塞ぎをかぶせます。
 - ②柱にアンカープレート(納まりに注意)をM8×14のボルトで取付けてください。
 - ③各々の柱に納まりに合わせて中間アンカーをM4×10のビスで取付けてください。
 - ④柱上部から屋根取付金具の穴に柱を差込んでください。
 - ⑤屋根を柱に差込み屋根取付金具をM8×25のボルト(座金・パネ座金付)で締め付けてください。柱の埋込み深さは300mm、下枠に20mmの隙間を作り、屋敷内の水を抜くようになります。
- 以上で枠が組上りです。枠を所定の位置にセットしてアンカー部のコンクリート埋込み、中間アンカー部の控壁との取合い施工を行なってください。尚、中間アンカーの取付面は2面でアンカー自体の向は4方向に向けられます。(詳細は表面に詳しく書いてあります。)
- ⑥障子の建て込みは枠の中央で建て込むようにしてください。障子ストッパーは開閉しない方の障子を動かなくする時に取付けてください。両方の障子を開閉する場合は不要です。障子の建て込み調整は縦框・召合せ框の下方の丸穴より十字ドライバーで調整してください。(調整代+5mm)



■ らんま取付方法

- ①見上げ板に付いたビス3本外してらんま取付上枠を見上げ板に取付けてください。
- ②らんまを建込む時外れ止めを内側に押し上げ取付上枠溝に入れビスを締めてください。



※注) 自立タイプにする時はアンカープレート・中間アンカーは不要になります。アンカー一部・中間アンカー部の取付けは自立タイプ用控柱セットの中の取付説明書をご覧ください。

- ①柱の右・左を確認して(外観より右・左)無目(内・外なし)及び下枠(内外に注意、レールより下枠の端までが狭い方が内側・茶色のシールを貼ってある方が外側)を各々M4×110のビスで組立ててください。各々の穴にビス穴塞ぎをかぶせます。
 - ②柱にアンカープレート(納まりに注意)をM8×14のボルトで取付けてください。
 - ③各々の柱に納まりに合わせて中間アンカーをM4×10のビスで止めてください。使用しない方の穴には捨てビスを打ってください。
 - ④柱キャップを各々の柱にM4×10で止めてください。以上で枠が組上りです。枠を所定の位置にセットしてアンカー部のコンクリート埋込み、中間部の控壁との取合い施工を行なってください。尚、中間アンカーの取付面は2面でアンカー自体の向は4方向に向けられます。(詳細は表面に詳しく書いてあります。)
- 柱の埋込み深さは300mm、下枠に20mmの隙間を作り、屋敷内の水を抜くようになります。
- ⑤障子の建て込みは枠の中央で建て込むようにしてください。障子ストッパーは開閉しない方の障子を動かなくする時に取付けてください。両方の障子を閉する場合は不要です。障子の建て込み調整は縦框・召合せ框の下方の丸穴より十字ドライバーで調整してください。(調整代+5mm)

